

患者さんへ

「子宮頸がんに対する子宮全摘術後の下部尿路機能障害の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2018年4月より2024年3月までに湘南鎌倉総合病院婦人科で子宮頸がんに対して子宮全摘術を受けた方
2 研究目的・方法	子宮頸がんに対する子宮全摘術では排尿障害を生じることが多く、生活の質にも大きな影響を与えます。術後は心身ともに苦痛が大きく、排尿障害に対して負担の少ない関わり方を考えることを目的とし、本研究を行うことといたしました。 本研究では、当院にて子宮頸がんに対して子宮全摘術を受けた患者さんを対象として、術後の排尿障害について検討します。術式や手術後の残尿量、自力で排尿できるようになるまでの期間などを比較いたします。 研究の期間：施設院長許可(2024年3月予定)後～2025年9月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	術式、術中特記事項の有無、既往歴、合併症、血液検査、術後の残尿量、自己導尿導入の有無、尿道カテーテル留置・抜去日、退院日、骨盤神経温存の有無、精神状態、疼痛の有無 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 岩本沙織 湘南鎌倉総合病院 看護部 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717

2024年1月22日作成(第1.0版)